



PORSCHE

12. Jan. 2012

Vol.2/12

生まれ変わったポルシェのミッドシップロードスター、
ニューボクスター

軽量化されたボディ、向上したとパワーと燃費で、さらに際立つ個性

ポルシェ AG（本社：ドイツ、シュトゥットガルト 社長：マティアス・ミューラー）は、新たな軽量ボディとシャシーを備えたニューボクスター、ボクスターSを導入いたします。ボクスターの歴史において、これほど包括的なモデルチェンジが行われたのは初めてのことです。大幅な軽量化、ホイールベースとトレッドの拡大、そしてホイールの大径化は、新しい電動パワーステアリングと相まって、これまでもセグメントでトップを誇ったボクスターのドライビング ダイナミクスをさらに向上させています。ニューボクスターは優れたパフォーマンスを発揮しつつ、燃費が最大で 15 %向上しています。燃料消費量が 100km あたり 8 リッターを大きく下回っているモデルもあります(NEDC:新欧州ドライビングサイクルによる計測)。

ニューボクスターの、より短いオーバーハング、大きく前方に移動したフロントウインドウ、よりワイドなシルエット、そして表現力豊かなエッジを備えたことで、ダイナミックに変化したスタイリングは期待を裏切りません。フル電動ソフトトップはデザインが一新され、ソフトトップのコンパートメントリッドはなくなりました。より広くなったインテリアは、傾斜したセンターコンソールを備えたポルシェのトレンドを反映したコンセプトとなっています。このセンターコンソールはカレラ GT を彷彿とさせるもので、より優れたエルゴノミクスをもたらします。

この新世代スポーツカーは、ボクスター/ボクスターS という伝統的な組み合わせでデビューします。どちらのモデルにもダイレクト・フューエル・インジェクション（DFI）を採用した水平対向 6 気筒エンジンが搭載され、さらに回生システム、サーマル・マネージメントシステム、およびオートスタート/ストップ機能によっていっそう効率が向上しています。ボクスターに搭載される総排気量 2.7 リッターの新しいエンジンは、ボクスターS の 3.4 リッターエンジンをベースとしています。最高出力は、総排気量が小さくなったにもかかわらず先代モデルよりも 10 PS アップの 265 PS（195 kW）を発生します。ボクスターS の最高出力は先代モデルと比較して 5 PS アップの 315 PS（232 kW）となっています。

両モデルとも、6 速マニュアルトランスミッションが標準装備され、7 速ポルシェ・ドッペルクップリング（PDK）も用意されています。どちらのスポーツカーも、最高の燃費と加速性能を発揮するのは、PDK 仕様車です。ポルシェ ボクスターの PDK 仕様車の燃料消費量は 7.7 ℓ/100 km、ボクスターS の場合は 8.0 ℓ/100 km となっています。駆動力が途切れることのないシフトチェンジにより、静止状態から 100 km/h までボクスターは 5.7 秒、ボクスターS は 5.0 秒で駆け抜けます。

ドライビングダイナミクスをさらに向上させるため、ポルシェはボクスターのために、初めてダイナミックトランスミッションマウントを備えたスポーツクロノパッケージをオプションで用意しました。機械式リミテッド・スリップ・リアディファレンシャルを備えたポルシェ・トルク・ベクトリング（PTV）も、新たにオプションとしてボクスターに設定されています。

<本件に関する読者からのお問い合わせ先> ポルシェ カスタマーケアセンター 0120-846-911 ポルシェ ホームページ http://www.porsche.co.jp

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>
ポルシェ ジャパン株式会社
広報室／荒瀬大雅 木内洋治
〒153-0064 東京都目黒区下目黒 1-8-1 アルコタワー16F
TEL : 03-5436-5936 FAX : 03-5436-5919

ポルシェ ジャパンプレスサイト <https://press.jp.porsche.com>